

SDGsとまちづくり

浅野 健



SDGsは、マスコミや自治体、企業などを通じて個人や地域に浸透してきた感がある。しかし、後述の「SDGsアクション」参加者にアンケートを実施すると、「(SDGsの内容まで) 知っている」という回答が四〇八割とアクションによりバラツキがあり、実際には「何となく知っている」という程度の人が結構多いと考えられる。

こうした中、弊社は名古屋市が進めるSDGsまちづくり推進事業を二〇二二年より二年間支援し、「熱田湊」(熱田区)及び「有松」(緑区)における活動を支援してきた。二〇二二年度の取組の様子は、前号のラバダブで紹介しており、本稿は二年間の総括として述べたい。

ワークショップを踏まえて活動

熱田湊及び有松の両地域で、二〇二二年度にワークショップを開催し、それぞれ地元住民、学生、企業などが参加してSDGsの取組につながるアイデアを検討し提案した。その内容を受け、二〇二二年度の途中から二〇二三年度にかけてSDGsの視点を取り入れた活動として「SDGsアクション」を展開した。その内容は次の通りで、両地域ともSDGsの十七の目標を意識しながら、環境を入口としバラエティに富んだSDGsアクションを展開した。

- ・微生物の力で発電・発光する「ポタニカルライト」を公園に設置

- ・真夏の夜の浜おどり(熱田発祥の都々逸の生演奏により盆踊り復活)
- ・葦が増殖するための堀川沿岸の土壌づくりと植葦
- ・SDGs講演会&コンサート
- ・子ども図書室開設(市営住宅一階の空き店舗活用)

- ・新たなアクティビティ「プロギング」SUPで陸・水両方でゴミ拾い
- ・子ども食堂でSDGsクリスマス
- ・防災講演会

「有松」

- ・名古屋タカシマヤ、久屋大通での絞り染めや染め直し体験
- ・有松絞りまつりでの「そうなる!?! 有松絞りの浴衣展」
- ・有松ゆかたまつり「藍のたたき染め体験」
- ・錦二丁目「みちにわ2023」珈琲で染める絞り体験
- ・晩秋の有松「見て触れる木綿綿花から糸紡ぎ体験」
- ・学びのツアー 知多木綿ツアー
- ・常滑藍染工房見学ツアー

SDGsを「共通言語」に

弊社では、地域まちづくり、公園づくり、公共施設づくりなどで様々なまちづくり活動に関わってきているが、参加者に苦勞することが多い。このSDGsまちづくり推進事業に関わった中で、「SDGs」を共通言語にまちづくりに取り組むことは、企業や学生など地域外

からの多様な主体を巻き込みやすいということを実感した。両地域の関係者からは、「SDGsを考えることで新たな事業につながった」などの意見もいただき、両地域とも持続可能なまちづくりを展開されることを期待したい。



有松絞りの絞り染め体験(久屋大通にて)



堀川沿岸の土壌づくりと植葦